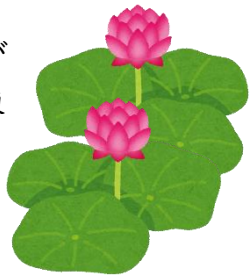
チーム金剛中だより

令和５年７月号　発行責任者 校長 岩片 啓子
寺池台一丁目1番1号　0721-29-1404　http://www.city.tondabayashi.osaka.jp/kongo/

大切な人へ



先日、金中の木や花のことでお知り合いになったご近所の方から、ご自身が大切にしておられるスクラップブックを見せていただきました。そこには、東日本大震災で家族を亡くした方々が、亡き人への思いを手紙に託す“漂流ポスト”（岩手県陸前高田市）や、白い電話ボックスのつながらない黒電話に思いを話す“風の電話”（岩手県大槌町）の記事がありました。読みながら、涙があふれてきました。

私もたくさん伝えたいことがありました。毎朝、必ず窓を開けて手を振ってくれていた母に、最後の「行ってきます」を笑顔で言わなくてごめん。私の帰りが遅く夕食が遅いことを不満気に言うので、「それなら自分で買って食べてくれたらいいやん！」なんて怒ってごめん。認知症が進んでいた母に、もっといっぱい伝えたいことや一緒に行きたいところがあったのに…ごめん。私がもっと早く帰っていたら倒れた時に気づけたのに。私がもっと…、もっとこうしていたら…と、後悔ばかりです。そろばんが得意で5桁でも６桁でも暗算のできた母、習字が得意、料理も得意、ニコニコしているようで芯は強く、本当は学校の先生になりたかった母、自分のことより子どもや孫のことを最優先してくれる人でした。新聞記事を見せてくださったご近所の方と母の姿が少し重なり、この漂流ポストや風の電話を見に行きたくなりました。（何年か前の記事なので、今もあるのかどうかわかりませんが…）

修学旅行で沖縄の『平和の礎』を訪れました。そこには沖縄戦で亡くなられた約20万人のお名前が刻まれた屏風状の石碑がたくさん並んでいます。私たちが平和を誓うセレモニーをしている時にも、石碑に刻まれたお名前を何度も何度も撫でながら、お花を手向けておられる姿に出会いました。石碑の名前に会いに来ることで78年前に亡くなられた家族とお話されているんだろうなぁと想像できました。

戦争、震災、病気、突然の事故で亡くなられた家族に伝えたいことは、きっと誰しもたくさんあるはずです。でも、残された者は自分の命を大事に生き続けること、苦しくなることはあるけれど日常を淡々と過ごすこと、そして笑顔で幸せに生きようと努めること。大切な人は、きっと空から見守り、残された家族の幸せを望んでくれている、私が逆の立場ならまちがいなくそう望みます。

いつの日か、この“漂流ポスト”と“風の電話”に会いにいこうと思います。

7月の行事予定

日	曜	給食	部活	行　事
1	土			
2	日			
3	月	○	○	
4	火	○	×	〈45分×6〉会議日
5	水	○	○	
6	木	○	○	放：委員会活動（分割）
7	金	○	○	3限：1年歯科保健指導 放：委員会活動（分割）
8	土			
9	日			
10	月	○	○	34限：ネットトラブル防止教室
11	火	○	×	会議日
12	水	×	○	〈45分×4〉期末懇談①
13	木	×	○	〈45分×4〉期末懇談②
14	金	×	○	〈45分×4〉期末懇談③
15	土			
16	日			
17	月			**海の日**
18	火	×	○	〈45分×4〉期末懇談④
19	水	○	×	1～4、総、大掃除　会議日
20	木		13:30 開門	終業式　部活再登校
21	金			補充学習
22	土			
23	日			
24	月			補充学習
25	火			補充学習
26	水			
27	木			
28	金			
29	土			
30	日			
31	月			

8/7(月)全校登校日
8/19(土)クリーン作戦
8/29(火)始業式
8/30(水)、31(木)実力テスト